

の所感・実証講座 実施記録メモ

第2回 実証講座

- 日時 2020年2月12日(水) 13:00~17:00
- 場所 沖縄県市町村自治会館(那覇市旭町1-1-6-37) 403会議室
- 講師 井上ゆき氏(株式会社サイプレス)
- 受講者 県内企業のITエンジニア(実務経験年数5年程度) 11名
- 使用教材 生産分野のIT化の企画・構想
農業×AI ケーススタディ
- 実施内容

12:50	【実施準備】 ○プロジェクト等実施準備 ○受講生着席
13:00	【ガイダンス】 ○講師自己紹介 ○講義の概要説明 ○ケースの説明
13:35	【個人ワーク】 ○農業(長谷川農産)における問題点と、ITによる解決の可能性を整理してください。
13:50	【グループワーク】 ○農業(長谷川農産)における問題点課題の抽出と解決策の検討
15:20	休憩
15:30	○プレゼンテーション ○講評
16:30	終了

所感

○テーマについて 農業×AIというテーマ設定がどうであったか

- テーマとしてよかったと思う。1つは、自分の知らない業界に対して、どのように業務分析すればいいかイメージできるということ、1つは、AIとした場合、現在実証されているケースが多いということ。
- 受講生は身近な題材ではないため、若干関心が低かったように思えるが、知らないことを

考える機会があって実践に近い形でよかったと思う。

○ケースの説明について 長谷川農産の現状や課題等の説明はどうであったか

- 経営規模などを入れたが、若干意図とは違う分析になってしまい、もう少しわかりやすいデータの方がよかったかと思っている。
- 個人ワーク①終わった後少しフィードバックのようなことをした方がよかったかと思っている。(やり方は思いつかなかったのが若干、やりっぱなしになってしまったかと反省している)
- ケースは沖縄の農業形態にあわせようか悩んだが、それだと答えが同じになってしまうかと思いきや選択肢の多いもので大規模農業ができる稲作にしたが、やはり、イメージしやすい沖縄の農業に合わせた形にすればよかったのかもしれないと思っている。

○グループワークについて 講師から見て、受講生の取組はどうみえたか

- 取り組みは皆さんそれぞれ頑張って取り組んでいた。
- Aグループは、前回と同じグループだったため、話のまとめ方も早く、ポイントがずれていなかった。
- Bグループは、メンバーが少し入れ替わり、若い人中心で業務経験が少ないので、業務分析および解決手段のアプローチが難しかったように見えた。
- Dグループは、メンバーが替わり、話し合いは活発だったが、話の収束がうまくいってないように思えた。

○プレゼンテーションについて 講師から見て、受講生の取組はどうみえたか

- 発表資料を一人にまかせてしまい、あとは外野になってしまったのが気になった。

○全体的に

(良かった点)

- 農業×AIはテーマとしてよかったと思う。

(改善を検討した方がいいと思う点)

- AIを実際に利用した人はいなかったため、どうしても経験則によりAIで解決するという事は難しかったように思う。
- 事前に現状どのようなものがあるか調査(インターネット)でできた方がよかったと思った。そのうえでディスカッションをした方がよかったと思う。

○その他、講師がお気づきになられたことなど

- やはり受講生の方はシステム設計などの経験が少ないように思った。今回は対象より上の方が多くいらっしやったが、当初の対象年齢の若い人ばかりであれば、もっと少ないと思う。その中で、知識のない業界、技術を使って、他のメンバーと話し合いをするためには、もう少し何らかのサポートが必要だったのだろうと思った。具体的なサポートのイメージは思いつかないが。